

伊藤忠都市開発株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
大栄不動産株式会社

報道関係各位

2013年7月26日

JR中央線「豊田」駅徒歩5分の大規模複合開発全440邸 〈クレヴィア豊田多摩平の森RESIDENCE〉 モデルルームグランドオープン！

伊藤忠都市開発株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長 辻村 茂）、三菱地所レジデンス株式会社（本社：東京都千代田区 取締役社長 小野 真路）、大栄不動産株式会社（本社：東京都中央区 取締役社長 石村 等）は、3社が共同で開発する〈クレヴィア豊田多摩平の森 RESIDENCE〉のマンションギャラリーが、2013年7月20日（土）にグランドオープンしましたのでご案内します。JR中央線「豊田」駅徒歩5分の場所に位置し、日野市が掲げる「多摩平の森 重点地区まちづくり計画」対象地区であり、地域と協力しながら生まれ変わる街、「多摩平の森」。地域に息づく街の絆を大切に、モノとしての「住まいづくり」から、人の「暮らしづくり」を目指したマンションです。

「クレヴィア豊田多摩平の森RESIDENCE」公式ホームページ：<http://www.ct5.jp/>



■外観完成予想CG

「多摩平の森 重点地区まちづくり計画」対象地区に生まれ、日野市が掲げるまちづくりの想いを受け継いだ、全440邸の大規模複合開発。

日野市が掲げる「まちの魅力を次世代に引き継ぐコンパクトなまちづくり」を積極的に進めるためにマンション全体を計画。日野市との間でまちづくりに関する協定や緑地協定を締結し、既存樹の保存や積極的な緑化にも努めます。1階には、地域の方も利用できる「クリニックモール」（予定）や認証保育所、日野市による地域産業育成のための「公共用集会室」を設け、地域の暮らしもより豊かになるマンションを実現します。

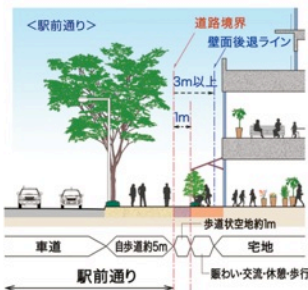
※掲載の空撮は、現地周辺の空撮写真（2013年2月撮影）をもとに、日野市役所HPに掲載の「多摩平の森地区重点地区まちづくり計画」を参考に、CG加工処理を施したもので実際とは異なります。



駅からまっすぐ徒歩5分の、快適アプローチ。
JR中央線豊田駅北口を出て、駅前の賑わいを抜け、整備された広い歩道をまっすぐ歩いて5分。小さなお子さま連れでも安全・安心なアプローチの先に「クレイア豊田多摩平の森 RESIDENCE」が誕生します。

A 賑わいがあふれる街路空間。

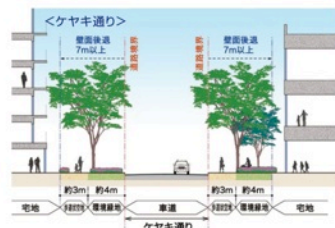
駅前通りは既存の5mの公共歩道に加え、壁面後退3mによるゆとりある歩道空間を確保することで、交流や休憩など人の賑わいを創出します。



敷地配置スケッチ

B 豊かな自然を継承する沿道空間。

ケヤキ通りは、多摩平の森の街並を継承する沿道空間。約3mのゆとりある歩道空間を確保しながら、低木の植栽や石積み・芝桜などの演出を継承して、自然環境と調和した街並を創出します。



誰もが暮らしやすいまちづくりに貢献する様々な施設を建物1階部分に。

駅前通りには、まちに安心をもたらす「クリニックモール（予定）」を設置。ケヤキ通り沿いには「認証保育所」や、地域の産業育成支援を目指す日野市の「公共用集会室」を設けました。

- クリニックモール(予定)
- 認証保育所
- 公共用集会室



image photo

子供も高齢者も、夜間でも安心の街路計画。

ゆとりある歩道を確保するとともに、子供も高齢者も安心の段差のない歩行者空間を計画。また、歩行者誘導灯や横断防止柵を設置するなど、夜間の歩行や飛び出しにも配慮しています。



現地周辺（2013年5月撮影・現地より約350m／徒歩5分）

「（仮称）イオンモール多摩平の森」が、隣接地に2014年に開店予定。

隣地には、「（仮称）イオンモール多摩平の森」が2014年春に開店を予定しており、日々の買い物がますます便利になります。

※出典元：イオンモール株式会社（2011年11月15日ニュースリリースより）開業は遅れる場合があります。※掲載のイメージパースはイオンモール株式会社が事業計画提案の際に作成したイメージパースであり、実際とは異なります。



四季折々の豊かな表情をみせる庭園空間「フォーシーズンズガーデン」をはじめ、「ゲストルーム」など大規模複合開発ならではの共用施設が充実しています。

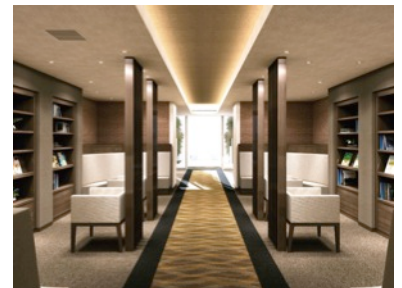
居住者同士のふれあいの中心となる「フォーシーズンズガーデン」や「キッチンスタジオ」「ライブラリールーム & スタディールーム」、ご両親や友人などを招ける「ゲストルーム」など、多彩な共用施設をご用意しています。



■フォーシーズンズガーデン完成予想CG



■ゲストルーム完成予想CG



■ライブラリールーム & スタディールーム完成予想CG

家族の毎日をカタチにするデザイン。「暮らしづくり」にこだわり、共用部・専有部にさまざまなアイデアを取り入れました。

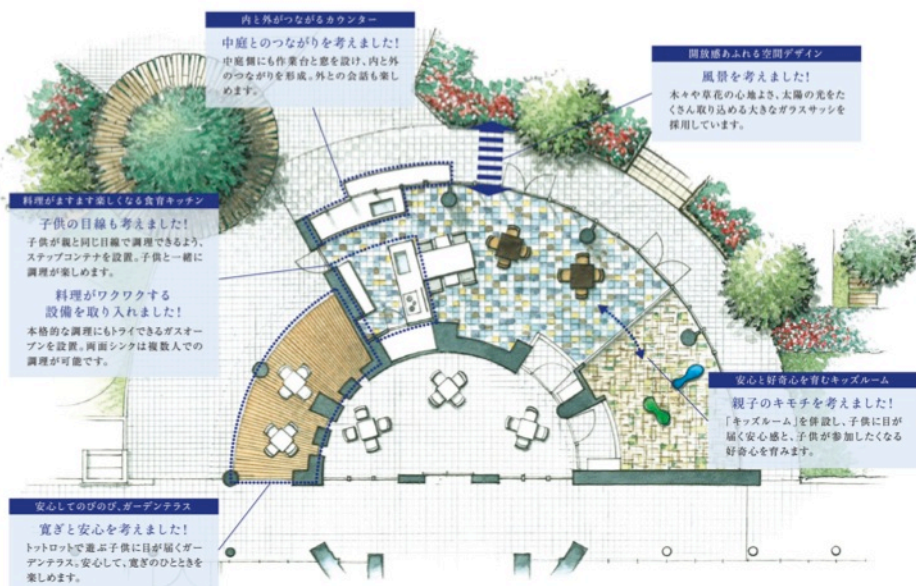
単なる「住まいづくり」を超えた、新しい「暮らしづくり」を目指して。数多くの企業のノウハウをとりいれ、共用施設のデザインや、専有部の設備、安心のサービス、地域一体となった防災への取り組みなどを計画。東京ガスをはじめ、様々な企業とチカラをあわせ、家族の想いをカタチにするマンションを実現しました。

東京ガスとのコラボレーションで実現。生活者の視点で考えられたキッチンスタジオ。

大人数で料理を楽しめる「食育キッチン」や親子の安心感を生む「キッズルーム」を併設するなど、さまざまなアイデアが凝縮しています。



■キッチンスタジオ完成予想CG



■キッチンスタジオスケッチ

専有部にも。さまざまな企業とチカラをあわせて生まれた設備が充実。

お手入れのしやすさ、デッドスペースを活かした収納スペースの確保。入浴が楽しくなるバスルームなど、日々の暮らしを考えて、使いやすいアイデアをたくさん取り入れています。



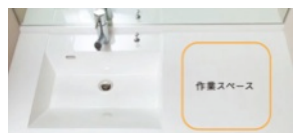
■お手入れが簡単な「とってもクリンフード」



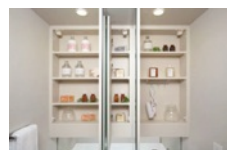
■底板ステンレス貼り＋サイドシェルフ



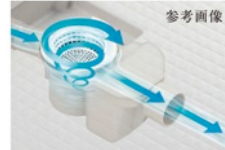
■まな板や小物などを収納できる「マグラック」



■スペースを確保した偏芯ボウル



■三面鏡裏収納



■くるりんポイ排水口



■洗面化粧台下収納



■ヘルスマーター収納用スペース



■ミストサウナ付浴室暖房乾燥機MiSTY



■サーモバスS

